

TOKYO働き方改革宣言

従業員のライフ・ワーク・バランスの推進を図るため、業務の繁閑に応じてメリハリのある働き方・休み方ができるよう働き方改革・休み方改革に取り組みます。

平成30年12月21日
株式会社サン

目 標

働き方の改善

繁忙期に業務量が集中し、労働時間が増加することは避けられないため、繁忙期と閑散期でメリハリのある働き方を目指し、社員一人一人の残業を削減することで、社員全体の残業時間が明らかに減少するように努める。

休み方の改善

閑散期には休暇を取得しやすい雰囲気を作り、休暇取得率のさらなる向上に努めることで、より休みやすい職場環境を目指す。

取 組 内 容

働き方の改善

残業時間の多い社員には管理職による面談を実施し、必要に応じて経営層からのフォローも行う。
長時間労働が顕著な社員については、必要に応じて業務分担の見直しを検討する。

休み方の改善

経営層からのメッセージを社員に向けて発信する。
有給休暇の取得率が著しく低い社員には個別ヒアリングなどを行い、その要因を分析し、休暇取得日数が前年度より1日でも多くなるよう指導する。